

調査研究のねらい

- 「食品ロス削減推進法基本方針」では、農林水産事業者や食品業者による規格外・未利用農産物の有効利用を推奨
- 本調査研究では、静岡県規格外・未利用農産物の有効活用に向けて、需要増が見込まれるドライフルーツとして供給することの可能性と課題を検討

主な成果

規格外・未利用農産物の有効利用に向けた  
ドライフルーツの可能性と課題

◆未利用資源の存在

- 規格外生産物は、みかんの場合、69,200t（作物統計）
- 卸売市場で選果され、廃棄される農産物が存在。野菜・果実卸売事業者廃棄物の75%が加食部（食品産業リサイクル状況等調査）

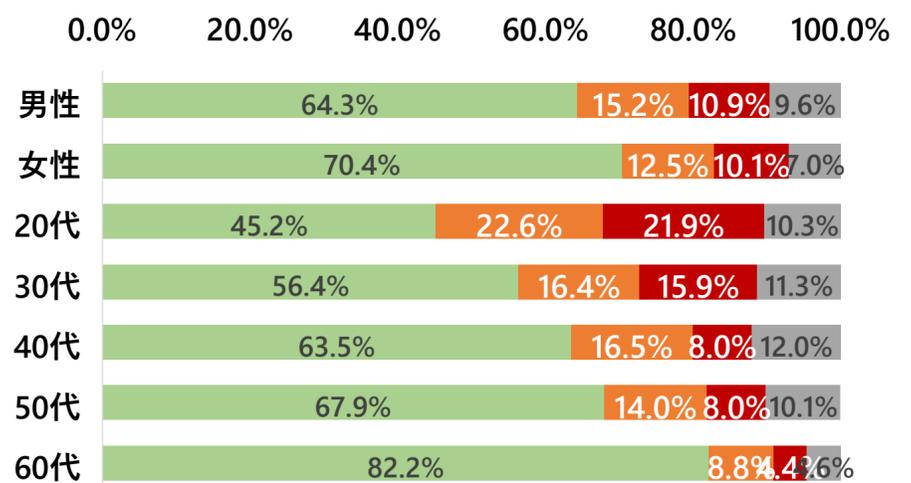
◆若年層中心の果物加工品消費

- 日本では、果物加工品の消費は若年層ほど多い。
- ドライフルーツについては、毎月消費している消費者は3割程度であり、食習慣の普及が課題である。今後の消費拡大意向は女性、若い世代が比較的高い。

◆世界的に成長するドライフルーツ市場

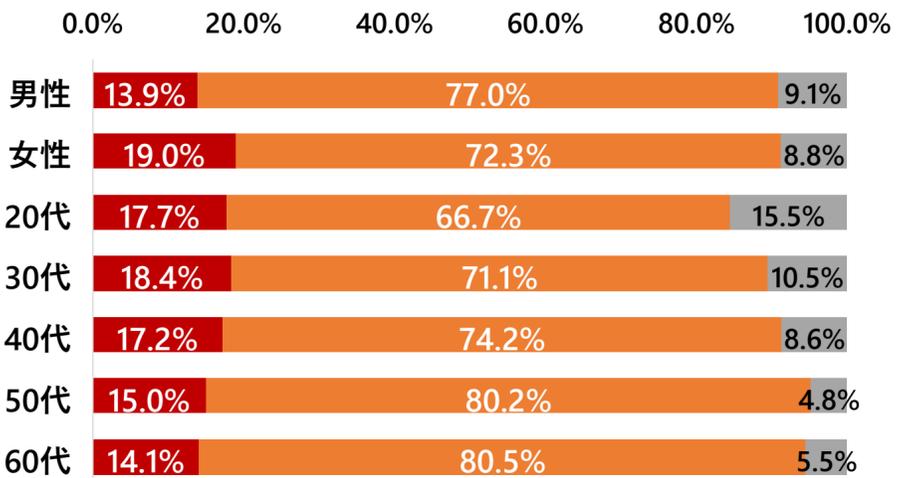
- 世界的にみるとドライフルーツは、毎年4～5%の需要増が見込まれる。
- 安全安心で、おいしい日本産ドライフルーツへの需要も増える可能性がある。

生鮮果実と果実加工品の消費度合い



■ 生鮮が主体 ■ 同程度 ■ 加工品が主体 ■ どちらもほとんど食べない  
出所) 中央果実協会「果実の消費に関するアンケート調査」(2019年度)

ドライフルーツの消費意向



■ 増やしたい ■ 変えようと思わない ■ 減らしたい  
出所) インターネットアンケート(2025年)

日本産素材の強みを活かしたドライフルーツで新市場を開拓  
エシカル食材として、食習慣の普及を推進

# ドライフルーツに対する需要創出への提案



「人や社会、地域、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動や  
ライフスタイルを重視する、「エシカルニーズ」の拡大に着目



## 活用の考えられる規格外 野菜・未利用資源

- 規格外農産物
- 卸売市場において選果され、廃棄される農産物の存在

## 海外連携先行事例

- 三ヶ日みかん
- カンボジアでドライフルーツ化



## 試作品の作成、試食

生と異なる可能性を確認

- みかん
- ぼんかん
- いちご
- メロン
- 西瓜
- 柿
- りんご



## エシカルニーズへの訴求

### ◆ターゲット顧客

- 若年層、女性
- エシカルニーズの強い消費者

### ◆提供価値

- 規格外品、未利用資源活用
- 国産品の活用、地産地消
- おいしい、安全・安心

### ◆提供方法、普及方法、海外展開

- 生産者、流通事業者の連携
- エシカルでおいしい食材としての食べ方の提案
- 成長する海外市場開拓も検討

## ドライフルーツへの需要

- ドライフルーツのグローバル市場は年率4~5%の成長見通し
- 我が国では、若者、女性の消費意向が高い。

## エシカル消費への意識

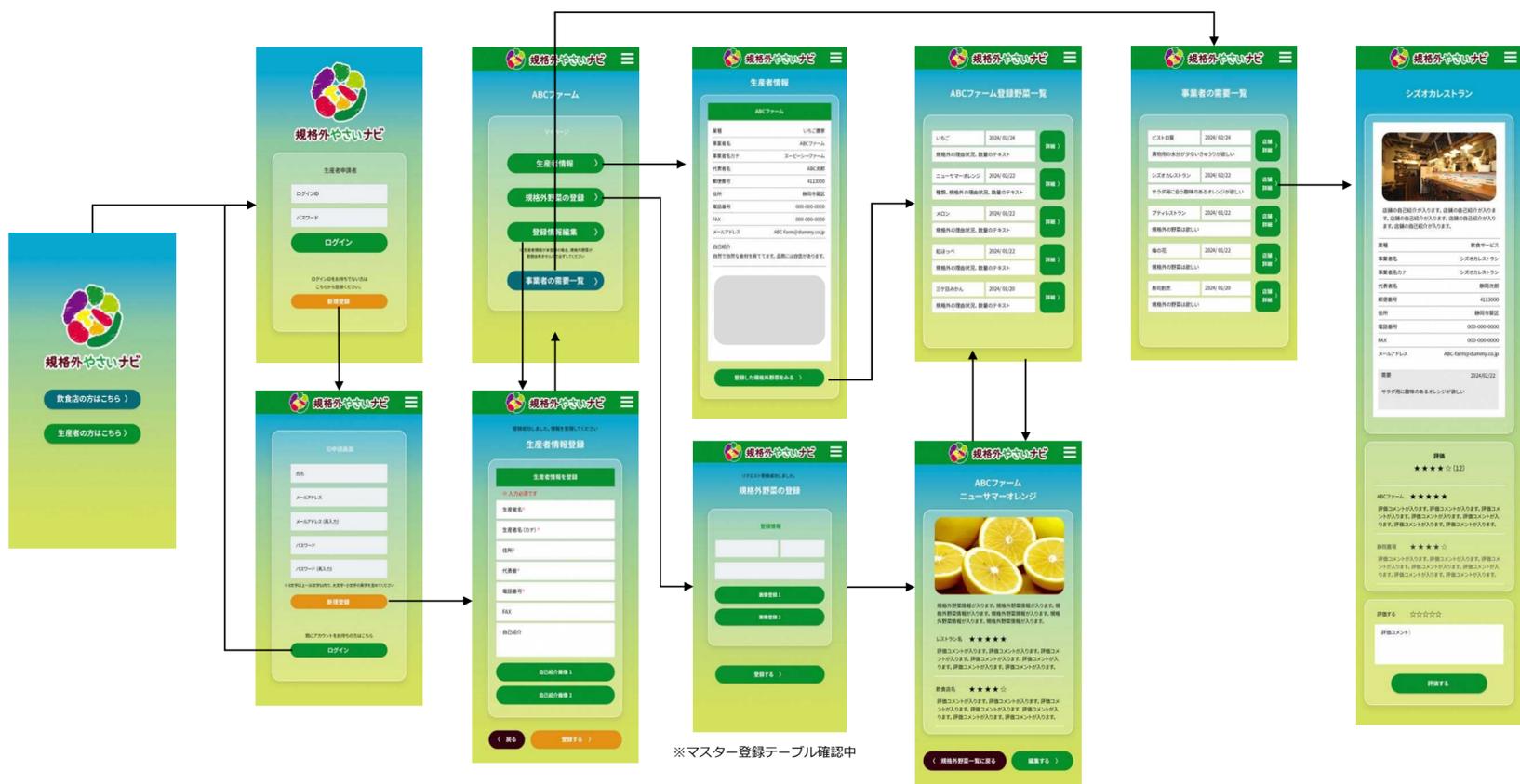
- 食品ロス削減をエシカル消費と認識する消費者が過半を占める。
- 若年層に浸透

## 食習慣の普及が課題

- 欧米と比べて少ないドライフルーツの消費促進のためには食べ方の提案が必要

# 規格外やさいなび

— 規格外・未利用農産物の探索、マッチングを支援します —



- 基盤やアプリ開発の実績を基に、生産者と需要者（飲食店等）が規格外農産物の供給・需要を登録、マッチングできる仕組みを構築
- 上記の生産者用の他に、飲食店用のアプリを制作